

2012年02月22日

9時00分現在 ドル/円相場 : 79.82-83

今日の手口 (NY 終値まで)

ドル/円は、押し目買い方針変わらずですが、79.10-20 までの押しは無理がないので、現レベルでの買いは様子見です。ドル売りも様子見です。短時間では80.50-60はあれば一旦売り場。但し、利食いも浅めに。

ユーロ/ドルは、陽線引けとなりましたが1.3250-80 ゾーンの上値抵抗にもぶつかった状態で終えています。値動きの中で1.3200±10ポイントに下値抵抗が出来ていますが、これを切れた場合は下値余地がもう一段広がる可能性が高くなります。但し、短期トレンドが“強気”に変わる可能性を残しており、1.3140以下の突っ込み売りにも注意が必要です。ユーロ売りは様子見か引きつけて、1.3330で撤退です。買いは1.3120-30までの押し目待ち。短期トレンドは1.30割れを見ない限り、“ニュートラルかややユーロ強気”状態を維持します。

ユーロ/円は、上ヒゲがやや長く実体の小さい陽線引けとなり、上値トライに失敗した形で終えています。短期トレンドは強い状態を維持していますが、前日の寄せ線との組み合わせは天井圏に出ることも多く、飛びつき買いに注意が必要です。ユーロ売りは様子見か106.00を超えて軽く売り狙い。但し、106.60で撤退。買いは1日様子見か104.50割れで一旦撤退です。下値抵抗は105.00-10に、106.00-20に強い上値抵抗があります。

ポンド/ドルは続落。1.57台の足元を確かめる動きに転じています。もう一段押す可能性が高いと見られますが、1.5690~1.5720 ゾーンにやや強い下値抵抗が控えており、これを切れない限り押しは一旦買い場となります。一方上値も1.5830-50にやや強い抵抗が出来始めており、これにぶつかる可能性も高いので飛びつき買いに注意。

ポンド/円は下値を急角度で切り上げており、短期トレンドは強い状態を維持していますが、127~128円に中期的な上値抵抗があります。また、昨日の値動きの中で126.40-60にやや強い上値抵抗が出来ており、今日の上値トライでもこれにぶつかる可能性に要注意。新たな買いは125.00-124.80の押し目待ち。124.50割れで撤退。

豪ドル/円は反落。短期トレンドは強い状態を維持しており、押し目買い戦略が有効ですが、84.00-20の下値抵抗も切れた場合は調整余地が82.50前後まで拡がり易くなります。強い上値抵抗は87.50~88.00。

スイス/円は88円がターゲット。新たな買いは引き続き85円台までの押し目待ちです。

カナダ/円は強い上値抵抗が82.00~82.50にあります。新たな買いは78円台までの押し目待ちとします。

NZ/円は強い状態を維持。押し目買い方針継続です。短時間では67.40を超えに強い上値抵抗があります。

【ドル円、中長期戦略】

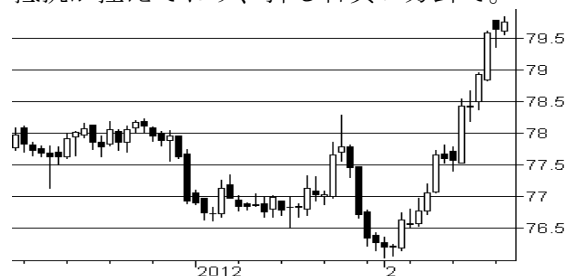
1月足は、上ヒゲがやや長く実体の小さい陰線引けとなり、上値抵抗にぶつかった形で終えましたが、2/14にこれを切り返し、さらに2/20には中・長期的なポイントであった79.50-60の抵抗もクリアしており、中期トレンドが変化し始めています。これで2007年に付けた124.14をドルの高値とする5年サイクルのドル安/円高トレンドが終了した可能性が高くなり、また、昨年10/31に東京市場で付けた75.53と2/1の76.03で二番底も確認したと見られます。短・中期戦略をドルの押し目買いに転換します。今後は調整的な下押し局面があった場合でも77円台が限度となると見られ、85~86円を目先のターゲットとして基本戦略を“ドルの押し目買い”方針に転換します。ドル売りは当分様子見です。

野線分析

直近の日足は実体の小さい陽線で切り返して下値を切り上げる流れを変えていないが、上昇余力の強いものではないので80円超えの上値抵抗を消化しきれない可能性も高い。押し目を待って買う方針で。

上値は、79.70-80に軽い抵抗が、80.00-20、80.50-60に強い抵抗が控えており、全てクリアするにはまだ力不足と見るが、トレンドが強い状態を維持しているため、値頃感

からのドル売りは控えたい。下値は、79.10-20に軽い抵抗が、78.50-60にやや強い抵抗が控えており、押し目買い方針で。



© 2012/WFXA

当社に無断で複製または転送することは、著作権の侵害にあたります。民法の損害賠償責任に問われ、著作権法第119条により罰せられますのでご注意ください。

尚、このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断は投資家自身でなさるようお願い致します。